

研究代表者氏名	中川 武			研究組織	9人	
所属機関・部局・職	早稲田大学・理工学部・教授			所属機関所在地	東京都 新宿区	
研究課題名	乾政宮の復元的研究 - ユネスコ世界遺産・フエの歴史的建造物群の保全計画 -					
研究の概要等	<p>本研究は、ヴェトナム・フエの歴史的建造物群の修復・保存方法の確立と再建計画事業に資する学術資料の収集を目的としている。</p> <p>阮朝・乾成宮は、勤政殿、乾成殿などによって構成される最も重要な区域であった。それ故、20世紀初頭ではフランス人研究者が調査許可を得られず、さらには、ヴェトナム戦争の戦禍を被り焼失してしまったこともあり、これまで実測値などの一次資料が圧倒的に不足していた。しかし本研究に至るまでの平成6年度からの科研費による継続研究の結果、各々の基壇部上の柱配置などの実測と床面の装飾タイル等の痕跡調査が行われ、平面情報は収集・整理されている。</p> <p>本研究では、それらの成果を格段に前進させるため、以下の2点を明らかにすることを試みる。なお現地調査はフエ遺跡保存センターとの共同作業を基盤とし、奈良文化財研究所等の内外の関連組織から学術情報の提供を得て進められる。</p> <p>(1) 大宮門と勤政殿によって構成される区域の発掘調査を行い、基壇の構造と耐久性を解明する。</p> <p>(2) 勤政殿区域の復原模型を制作する。阮朝前・後期に区分し、当該区域の変遷を模型製作を通じて考察する。</p>					
当該研究課題と関連の深い論文・著書 (研究代表者のみ)	<p>中川武監修(溝口明則, 小野邦彦, 河津優司, 中沢信一郎, 黒河内宏昌, 土屋武)『アジアの歴史的建造物の設計方法に関する実測調査研究』早稲田大学アジア建築研究室, 1999</p> <p>中川武監修(黒河内宏昌, 中沢信一郎ほか)『保存工学の課題と方向 - アジアへの文化遺産保存協力 - 』早稲田大学アジア建築研究室, 2001</p>					
研究期間	平成15年度～19年度(5年間)					
研究経費 (16年度以降は内約額)	平成15年度 千円 187,00	平成16年度 千円 176,00	平成17年度 千円 174,00	平成18年度 千円 166,00	平成19年度 千円 158,00	合計 千円 861,00
ホームページアドレス	http://www.heritage.waseda.ac.jp http://www.hist.arch.waseda.ac.jp					